

北條五代記

卷六

六一

印
野
書

小除久代記卷第六之目録

上松輝虎武田信玄小畠多助事

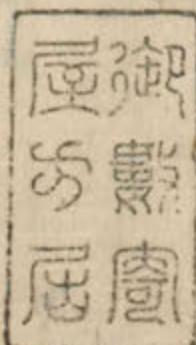
嫁男と底もめ女竹乃事

百姓やまうげとそくごく事

小除氏康和舟れ事

人名とく達のうも曲ねじ事

嫁女とやあねよと事



小除文代記卷第六

○上教輝虎武田信玄小田急勧事
支を今。ゆ庇に多々会合。ひく園東の
ごごごお詔と。わびしく小ゆねわり。と申す文
あるは。我生國、越後なり。上教輝虎ハ越後
一國と。わく。園八州の主そろ。小除民康と。キト
ク。代計よ討負じ。わき。内三年。小園承通
石す。で。さく。さく。をもと。とえ。も。猛強の大わざ
こり。ア。一人。それ。申列の住人。たり。武田信玄。小田
斐孫河。お國と。わく。民康と。キト。も。一年

小國多へど一合盡く而り。誠もり出で。往と志
まししる前よ相摸三浦あく合戰。伝玄討ち
おほくの敵を討死す。民康威勇よふき。輝
虎も。伝玄も。小國多へなれり。民康心辱を未
代よめととつ。対よいゆ。小隊家よ死つて。む
士下社の所すとあそく神すりて居て。居て
はトモモ耳。やかまひん。社中へ出で
云々の事すら。このつひ事う。かと時代のじく。
わうどうやうじて。難せうめ、ハ縛事也。これ
き。サ。民康の家。もひの軍。よわひき。絆
上野下野。武藏下總。おもて。居位も。民康え
ま下のねえ。達臣。とくとく。輝虎。伝玄ふくよ。小
國多へどくとくこと。わうが。勧とび。うて。出せど
き。國。ううと。我。袖羽。ひして。施薦。う。うよ。う
か。をうか。まく。武。勇。さ。どく。ふ。う。達。臣。多。く。國
と。乱。と。古今の例。小國を。勧く。とく。う。う。民康の
恥辱を。う。しん。輝。甲。甲。前。我。國。の。震。脣。員。と。大。め。お
威。を。諸。仰。ま。き。もの。ふ。柄。と。ゆ。法。も。う。う。方。一。く
躍。と。甲。川。泉。あ。す。と。人。の。お。活。と。と。れ。實。た。ば。
ま。り。う。れ。た。わ。き。わ。り。と。そ。此。と。ア。う。ん。う。氣。よ

ありましらうとそんじよふとよよくとあふ
されば後人よりかぞれむと古人よりてされば甲
川ゆ。武勇より自慢。廣志とえさ。也國の大わ
とあるよりて。妙なる合戦より勝たず。國を切
て。射す。利口せらるゝとどたれく。やうに國を
甲斐接河。五國からくを外ハ邊國のれいも此
小ちと旗下小方と計たり。承和十二年の冬
蒲原より。除野、二郎在職。小城かれ。伝玄
の内えり。もと飯も國寺三牧移と。そのは
用送り。三城と。れり。手柄小ひととづた後

河國中より長久保。泉頭戸倉。志師。涼ひ定ケ敵を
氏康。村り。松又。海津里。ほら。も更志下。志師。淡
島。新江の浦。多死口。嘗ひ。七ヶ所の浦。墨。も。後山
姓氏康。物國。から。伝玄。勝。松代。よ。は。後河。以
を。ぬへ。うんと。一生。源。ゆき。計。ゆく。も。く。り。う
い。ふ。い。ん。氏康。も。く。り。お。來。う。歟。と。や。然。よ。伝
玄。父。伝虎。と。過。斗。甲。川。と。奪。ゑ。く。也。國。こ
そ。後。河。へ。今。川。氏。玄。の。國。た。う。と。氏。玄。君。奪。よ
て。隣。國。の。源。家。康。よ。切。て。く。る。あ。べ。他。人。よ。ど
ら。せ。ま。急。な。り。氏。玄。母。の。伝。玄。が。あ。り。氏。玄。ノ。娘。甥。

ちりと。矢張とまきかへとく。然圓とども
少人とふれまでも大石小石子とわ親類。強
取と神がひひとうの。自然の兩力とあらむを全
じよそまされたまんざき。従云世の祀見と
モリキまへど、她的のあざきりとももらじ。よきよ
肩さ。你歎アム。よ恩達せらる。云系よ後
まう。お圓を押れ。ひ柄とすよとつた。とづ骨
肉のうち。恩子ハ死と。久よゆづりとづる。古ヘア
云系。ナドナカニ。嗚。人也。鬼畜其名とさん
そととがくん。繩緒よ。恩子ハ親とす。トニ。

是ハ國公且の云系也。とよそ恩子ナシ人。親親
一族と思れ。捨らるとこそ仁と。寛喜の君
ひ。小除武意守恭財ハ通倉の主。捨文武の主。人。
天下辟邊。治ヨ。治リ。経ト。月中。ノ。石越毛強劫
も。小除越後守の事。ノ。歎打ヘのノ。もやもも
里。ばくへ。武刑の才。ナリ。武刑。许定の。存。ヨ。わ
て。ひ。ト。と。ア。直。ヨ。は。疋。ト。シ。ト。ア。め。強。ふ。相。川
下。出。仕。ウ。ト。と。渡。ヨ。キ。ヒ。て。驚。と。死。ヒ。と。終
歎刑ハ。純行なり。國守居の。傍。也。恩意。太。と。戒
ヒ。ボモ。一。是事。小。林。武。刑。じ。由。と。安。強。次。ヨ

望ゆり落ひぬ。左宗門尉盛緑。武別と称すて。ま
ま穢と帯し。宿ふゆ力也。キヒシ國歎をもとと
リ。また之ゆ使とも。而て。左右と。やく。左
まべき事。盛緑あと。さへ。此ふされが。謀と先
ぐ。う。し。へ。事と。やあへど。びくせり。落の
系不可。也。而後。りかくの。こと。その。故よと。そを。
ケミンド。乱世の。り。ひ世の。そ。と。ま。ひ。ば
ら。うち。武別。巻て。い。ま。よ。か。亦。あ。く。へ。組人
の。せ。よ。わ。る。観。れ。と。う。ご。あ。也。眼。あ。よ。と。そ。先
方。と。教。害。せ。れ。ん。事。豈。人の。そ。り。と。お

ふ。あ。も。も。や。も。内。は。立。て。金穢。の。せ。ん。か。く。ん。う。武
道。ハ。章。ク。人。祚。ふ。く。ん。や。共。と。越。川。敵。ふ。か。ご。ま
あ。の。く。し。是。と。ち。他。人。ハ。か。事。ふ。も。よ。ど。る。免
内。ふ。き。と。西。ハ。達。曆。義。久。の大。敵。よ。だ。づ。く。く。と。と
え。く。内。よ。後。河。赤。司。義。村。が。こ。く。ふ。作。し。是。と。取
里。感。歎。と。拭。ふ。盛。緑。ハ。面。と。そ。れ。て。経。廻。と。義。村
度。と。立。の。後。ゆ。あ。り。ま。よ。お。よ。と。て。ば。事
と。湯。か。浴。作。の。男。女。を。と。す。感。歎。と。る。の。あ。も。も。
盛。緑。が。視。洞。の。匂。武。別。の。練。謝。と。れ。れ。川。ま。り
方。ふ。わ。ん。や。く。下。り。と。す。お。ね。漏。よ。な。ん。で。是。

と變せしと云ふ。謀よりせよもく。親類といふこと
そらづべき事なれ。信玄一生涯。六帳と捨て。六達
おゑ。佛神のゆくまとうを。弓矢の冥加ア
背さ。永代のわざさりと歎ひ。終より伝玄公。通國の
歎と。百方をももて。一をうちすけヒト。廣玄
ももと。も益ナ。百方をももて。百方勝と
若といふもじ。もくろくと。袖幕のしらと廻ト。
そくはむして。國を治ふと。名大わとと。援河の内。
氏康のてケル。と。城をうしな。をも捕つて。ばせ
の圍み。とよもんや。城の致ひ事。益をもさ。

意。上とまをよ下かねバ。節極お哉もれぬ柄と
いひ。敵、五万三万。味方の兵にまえ千二千。数
度の合戦。切勝。それの首と百客。彼ハ首と卒
三千をもる。人の妨と。と。それといひ。だ。ひ
かがう。ばうれつ他へよあひて。よ捕と。よ。國を
らしき。と。見え。主君のまひとかく。信玄ハ多よ
威威と云。義。と。死恩前と。面より。と。主君
も。氏康。よ。志の丘。経由さよと。そん。植えん
。や。人よ。我國と切くぞれぬ。根ふ根

ひゆとへて微候を者とはいひせられたり。
主義よ。又多有る所とあつた。父信虎と七郎。
諸國と寧ろも。りん心辱ともなりまへ
じ。子息太郎義信と義よ。後害と。六朝
不和みて。三事の如義。主ばくじ。忠功志
郎姫。あ。も。お。御わき。例のそんさぬ。お
あり首と切事。虫と教と。しりと脚と。主上
神の實感。よ。背さ。人界の。されが。主上
位玄大儒。西。自名付。そりと。そき儀ふ
号。大切の友。傳行基。芥とりも。生りる。

かう。少。よ。家。の。家。の。り。事。ハ。佛道。と。二
十年。世。年。後。り。し。齋。得。是。餘。り。も。と
て。禁中。へ。參。や。す。一。と。功。小。も。か。う。ゆ。よ。德
多く。して。も。位。よ。も。と。ハ。安。賦。と。名。付。伝。玄。一
生涯。拾。紙。ア。無。い。遂。尼。ハ。な。セ。も。く。わ。さ
き。も。と。腰。着。ハ。一。蒸。は。ど。も。や。く。く。と。と。し
と。そ。り。そ。も。い。と。そ。り。と。ビ。恩。遂。せ。る。め。て。大
儀。ふ。よ。と。じ。事。滅。の。官。誠。前。代。未。や。き。り。
松。又。甲。別。め。る。義。理。と。か。く。ま。き。り。よ。死。す。ぐ。
不。や。れ。ば。一。身。も。ひ。も。と。君。の。そ。と。ら。よ。く。ん。あ。り。と。

ねうんで。今下と、ハ薦もりも移く。名を打る。
義とまんとどりふ。歴より天正十年の春。信と
角川へ参向。一准よ。勝村も郎酒ある。は
威勢ふるえ。肝とす。甲冑と常じ。手達を
多くじりん事のありひも。ビ。力とろく
しむと打内て。一足と歩く。必ずゆん事と
神び。歎のよことともなしして只やああ。取
軍と。勝村古着中へ薦めひ。内生で。二
百人從じ。次に。皆ゆひ散て。勝村皆國どふ
左近。海り。活。内。名をゆふ。去處を経只

一人佐と。勝村云相模。歎をもとつて。おがくと
え立。民政とまんとく。ハいふかとゆきまふ。ぶの
よき。先の三郎。氣虎と情なくも。ゆ。後と面
目ゆ。勝村。りゆ。自害。わゆ。も。人見と
て。難をうそついた。勝村ふく勝。毛り。と。感。だり
家も。毛。坂。居と。ぬ。活ひされば。十日以前。も。見
え。と。活。主。饗。と。あらま。が。解。日。生。で。か。ト。ふ
失。ぬ。と。勝村。は。壁。面。の。れ。く。天。月。山。の。人。を。よ。害
せ。され。活。ひ。れ。甲。川。竹。並。日。の。廣。云。み。る。せ。の。物。と
ある。信長。云。甲。川。竹。の。寺。の。活。ひ。て。後。甲。川。あ。く。直。

卷之三
一 れとましれられざれば。誠とむらじ。山炭とみゆく。つま
もくせん。剣ふ船名と記。と。續。甲。後。國の
往。達と一挺。れき。波さど。矢と一筋。それと。
敵のともども。と。かく。やく。海。と。主と見えとく
色り。臆病者。後代の。こしめとく。百余人。繩と
手。筋首と。そ。切られ。そり。され。ハ。俗。絶。お。能。を
み。筋。と。く。と。云。事。せひ。合せり。巡。右。事。わ
る。筋。と。く。と。云。事。せひ。合せり。巡。右。事。わ
る。筋。と。く。と。云。事。せひ。合せり。巡。右。事。わ
る。筋。と。く。と。云。事。せひ。合せり。巡。右。事。わ

が。ア。ミ。筋。と。勝。負。と。没。も。る。活。一。也。歎。又。活。の。筋
と。武。勇。也。ミ。武。の。筋。と。戰。場。よ。も。あ。い。ど。て。
辛。よ。か。よ。り。ハ。え。ん。ハ。無。縫。の。筋。の。そ。ぐ。り。ち
く。死。も。と。ハ。う。べ。く。も。され。ハ。早。雲。寺。多。二十一
ヶ。際。と。号。し。侍。一。生。海。勞。の。行。の。教。を。も。う。一。を
え。れ。そ。る。文。も。と。内。二。十。ヶ。際。よ。武。力。馬。の。通。ひ。あ。り。
あ。と。に。乃。が。ど。左。文。右。武。ハ。い。ゆ。の。は。あ。く
そ。か。人。ど。ん。ど。わ。く。く。ど。と。書。こ。め。活。い。ね。ズ。武
康。ハ。文。武。の。康。人。強。大。わ。う。そ。ば。時代。ア

ゆく。関八州と治られまし。民康のよまよ。敵
の合歎より勝利とうか事。兵力によれど。ひ
とへよ八幡大井の冥國よからひ。もよ節度ある
忠功小舟りがゆがたりとづが武勇と。ひくせり
ばるの人とこそ。徳わらるる。とくもとくらはべ
タれ。織よ後代の祀。浦ふもあくべき。小田原小
滌家の弓矢たり。ていきば。關東の。ゆゑに
より歎十代ねじり。浦食の。方の。山被友。官
殿上松の節度あ也。織よ右河の。方晴氏。上松
憲政と一味。天文十五年四月廿日武州

鉢の敵よとて民康と合歎。民康討勝て云
一方とも上松をも。遅討と猛威と。をよみ
し。ば。關東。うすい。活ゆとく。是れ人と。敵て民
康幕下に属し。上松の鉢海へ。爲。院。奉院。と。輕
三方の民康。妹。舞。と。上若。君。お誕生。脣肉同姓
が故。うちよ。と。あ。と。が。うちよ。か。て。逢。意
を。な。じ。後。も。云。方。よ。り。と。さ。身。す。所。と。の
即。返。れ。と。ね。う。ア。い。民康。よ。鉢。海。を。み。そ。て。或。明
き。船。川。羽。田。壁。へ。う。が。ま。れ。或。明。ハ。ト。総。ウ。圓。圓。高。
流。飛。せ。し。世。よ。も。く。を。も。じ。い。か。ば。れ。が。民。康。

関東諸の應と事の時
脚の敵と多く敵とへ兵船來と對と敵。
かねの連亂者もとてたるとしておどろくも
わ國と堅固し守護一端り御は関東の左へと
あらむ。方上松のぬ國と一端と被ひ二度古事と
やうごと内一人壁ふとさうをゆき父とめ
ぐせば皆それよほきまびし信は。上壁武益下
豊帝陸下總力一隊一連虎と大内軍と
永禄二年の最大軍と引率し相模大敵を退
もア犯在家と敵大ノぬ津と松久水禄十一年
乃冬。武田信玄後河へ出陣。今川氏家と追付。又武
田義則が門へ落石。信玄ハ後身よ旗と立まれり
もそのそよつたる者。之にちとあると立
かひとなれ。大僧正の友賊。よく小毛ぶがのとひ
たとえよどて。もろん。武田、又、民康の奔。
とひとと安政父子月十二年正月中旬。
五万金強と率し。後河へ全數。モ信玄はよりと。又
ゑ。小田急。使者。て。寺。佛。南。房。へ。行。密。者。者
を。を。不義。信玄失心を犯。謝もとつた。もやうよ。

えりをそよ。肩よけみす。三枚も小張付より
らまきたり。氏康後河へ折へ。信玄押伏下とくを
とも巡討。同十八日蒲原。也井。蘿谷山へ敵の泊り。
もととよくれそり行去毛と見く。其は清見もる。
人ねと歎。そぞひよどきそくとてつを中ちよ
難所多く大倉家すりご。数日と送ふよ。信玄
官月廿八日。越陣としりて船もか死駕山とだり。
和りとく。甲州へかびりの氏康へ信玄かびり也
支後河國中庸原。うち圓寺。三枚橋。戸倉。志崎。後
泉ひ。長久保。七つの城より人ねをもと。氏康父子

田原へ出ほせり。後河大支。若波ち。面あすを壁。うる
氏康に切られ。信玄を恨み。そべてこよ西よ。後育
年六月二日。甲州と打立。後別口岐鳴尾よ。陣立。氏
康も後河へ歩馬り。射陣も。經町。蒲原。うち圓寺
三枚橋の三城。うち。わゆとよじら。信玄陣場へ取討
し。火と石も。うち焼立。三方より縣はと。角とわざる。信
玄が。逃さ敗軍も。一陣破き。移意全く。どく。火
と石と。甲舟へかぶり。信玄八幡大弁と。もあらず
そくと捨て。毛と捨て。氏康へあすとれ。敵のと
それば旗とて。かまふと失ひ。小田原へ攻陣たり。

主義為書

小集卷五

十一

多岐久へよ。たゞかぐやとせ八幡のまくすす。
かく田代をそぞりとす。往玄山を夜あがめ合戦
三一交用前守無り。是もみもうちじ。信玄又少路
とべしよ人おとすくま。猿川へさへゆきよそ
力城と小加賀とへ。わめふよ。往玄上野下野良益
下總よ尾住下る。あくへ三方上松の即位お一叶し
信玄甲舟と。月十日二日ふ打立。一味の加賀大
軍と引率し。右衛の城とよどそと並。すぞよ
小田多へもア紀とナヒと。民康素外。せ勝さん

も合戦られい。もぶ田代の入教。笠戸子河原へおも
大河と魚沼とて。はも。信玄ゆきよの者酒匂
の高と敵歟。即引みと。岡よ。かく小田
京より切て。逃み。敵敗軍と。民康民政
圓扇と揚ぐ。すすむあまえ。計られと。小
一弓。ね田尾法。山角上野。伊勢海中
守。織田伊達守。おととけ。浦勾より大坂平
根毛と。さひら首のね。千余とき。小條
上総も子自。一陸守。月守。繩。おりと。まほ
内陸奥守。内安房守。大名寺。猿河守。若狭

とわりてをくわす。十月六日乃ち事からず
相用。のうこうし三橋川下より信玄人救とあし
とさり味方尾とらをも小隊助又郎内折
太郎勝よ事く。前登によすと逃村所
かくとそ不ひ多勢切てが政味方とびき
松中ゆく報兵二三十人討きる。信玄小隊家
こら矢とねく。勝利とめり。一代よ尾一
なり。輝虎信玄園東蓬風の後悔と一味
一。小田急くとくとくした。就一力のをくわす
乃様よいかせり。ばあわのう矢と頃羽び獨

けをすをきのじふ。匹夫の勇士とぞくくかず
じどそそ。氏康、やうされふ。小隊助又れと。用
別へ院人よはとく。行脇よく。云葉よく。よ
件り助又郎新太郎兄弟。公禄七甲子ふ
月八日。ちの道登合城。よ。之は小もとと。譽とえ
キる大人也。氏總氏康よりとある。信玄園をた
はく切て、之は純江とことへども。氏康園と一つ村
信玄をもとと。純江とことへども。信玄西上州へ出馬
せし。氏康旗下りゆ。遂にまく一味とあが
ゑ。勝利ハ天正五年。氏政旗下小少るふり。甲

列に弓矢をよどましと。徳宗の馬をとらひて
ちと雪んとの謀かくべ。わまくえど田原町と教
大ととつよと軍の天正十八年まで廿二年以あ
事也。今に三十歳よとす。相模小国家の男女を
まよびそも軍といへり。國譜よ民の口を
きく事。川とおぐり。それともかうとまく。廬
室と稱ふるべ。甲州良虚矣をく。小國家
の。ハこの小切。水禄。年九月十日。徳行
河中。爲よとて。鷹虎と伝云合戦あり。勝てば
く。信玄本札。腰とけ。居更鷹虎をせめく。

馬上やくは。さく。二刀うち。位玄ひもさく。と。小勇
をた刀とぞり。大勇ひうち。と。と。兵書の軍
法とぞく。三者なか。圓扇と。と。法を。と。と。外
敵をよそ。うち。ハ。ゆく。清れ。を。後。それ。も
うち。よ。麻。ペカ。と。と。あざ。を。段。の。うち。ゆく。こ
そを。け。り。帝。の。うち。ハ。す。べ。鷹虎。ハ。く。二刀
小打。か。と。さ。ぐらん。甲。列。肩。首。と。う。これ。百。といひ。
オ。それ。が。キ。と。ソ。よ。の。ど。紀。の。虚。を。わ。が。て。か。ふ
を。う。じ。と。ま。右。の。うち。ハ。一。と。と。素。と。う。か。う。
往。去。うち。ハ。よ。太。刀。底。ハ。ケ。や。も。と。つ。ひ。て。人の。滅

トセんとあふ。女はうつよもとよりそろ。わの西野
小ちじや。湯宿よ言とをくじゆ。えと含す
きとくなかうか。仁わひとえ。船べく。酒か飲む
うとく。首尾不合の口さきなく。世人のわざを
見とく。あくび。口よきを紹り。云とそへば。
口よきをあくび。口よきを紹り。云とそへば。
おはひうき。小田原へもとくとくとく。まよひ
よ。浦城と一ツせらぬとべさて。キテモセビ。一時
ゆき事となく。キモギ先一揆の易合と。ありぐ
時よかく。准が下氣よもとよばと。我先ゆく
ひきりく。小打成て。退散し。とれく。船宿合ひ
て入る極章とく。大名程云よ。おけ。車蓋と差し。
太郎冠者。次郎冠者。とあとにしき。まく大
名よ歎て。ゆうとく。左。斎藤。り。お屋。ぬま。も
その様子すり。櫻虎信玄教圓の事と成。教方
猪と引ぐ。大名が不よ先と。まく。小国
名もとくとくとく。まく。一町の内。耶。鄭の事
もなし。ひきり小物とゆく。ゆく。大名程
云よとすと。准。民廢。は。達。長と付の事。

出馬しゆま。之のと内張うちばりが人の辰誠ときのぶとれまをせりふを
力ちからめよとくひ。前まへの糸いとと悔懲くいぢやうとびとく海
氣きと。民廉家やまとくらうをかう者ものども云いふ。風かぜもそれ。風かぜ
聲こゑんとすもゆも敵てきとなひ。も上うへ一人ひと罰たたきされ
も。前まへ人ひととそろひ小城こじやうとせり焉いはとす。も内
ふりりと。民廉やまとくらうとそれ國くにを治おさつ。民みんとも
そと。これよ一交敵討たたかひの者ものとく。みかうち下げろ
事ことを述のべとあくど。犯つたはとゆくとも。先さきのもの
とかり。國くに八州やし旗はた下げのいた。みかうそくのぐとく
の小城こじやう也。せら焉いはと事こと。目めとむらむらも。能のうともか
きと討うもととく。國くに東とう諸しよ侯こう。我わ方ほうの上うへ
三國さんくに也。民廉やまとくらうかふとくへ。ほんと成なてへりよ
墨くろ後ごの衣いとと義よ。半はん仕しきの上うへ、子細こざいとくへ。も
と上うへは、五ご丈じやうも。まかこぶ。犯つたはのとりにとく
うれう。功ごうのうれう。さとば。をりくも。う
幸さいト。や。れ。く。犯つたは料りょう。さう。く。り。と。ぐら。ど。さ
免めんせ。く。が。犯つたは又また。と。洞とう。遂つい。一。味み。と。も。く。ば
く。と。や。と。れ。え。よ。と。き。ざ。と。年とし。游ゆ。隣となり

國に方八あよ歎もく。西より教向とれば又東
よりも後活をす。教父の合戦もとソヘども
ぬ活のこもが二心すくひあら飛と免せらる
氏康の恩惠と感ト。方令とそびうち一筋
か勤功とをもすましと。乞う付くむりいきら
美乃ひかひ。松野ム相川石橋山の合戦よ。うち
貞房刑へ薦り詫ひぬ。畠山次郎・金忠。河越
左郎・金朝。戸主・郎・金長ふ。有勢ノ者・源氏
を引と。三浦・大森・義明と討がちがも。迄よ教
約・云通念へ打入候。四右の三人とすら。遂に
力嘗とく。傍人と敵て争ひ味方ふ難もる
者ないもく。今見恥とす。ゆきどん・後家
をめしめがく。せ。絶を皆免せられ。刑法
のみ事。すふ一下とく。ひの者。と尊惠と
國ド。後忠と墨と。國と後大ね古今とく。而
も國八刑の良士・輝虎。信玄ももとせど。氏康
みれりひもと幕下小属。れよ多國と教父
ア活め。文武・智謀の。名大ねのがまれとえま
里古活ふ日月の触をば人皆見る。やうたりと
りのじく。ゆ立とまきば民みをわづ。一交

あくとあく。日月とい御。此事ナ。

氏康のあやまちもあらむ也。たうて。若よ

おきび。浩々のう。おもややま。いとく。い
そを絆を。おもや。孟子ふも。い
どどとうり。毎よ。地。さんとす。も
日もえ。キ。どどり。一つと。素。て。も。前を
も。ひ。事。わ。楚芳。延王。中の酒宴
ふ。臣下。たの冠の。と。切。尼。ゆ。され。から。も。後
を。恭王。の。令。ふ。く。れ。き。古。後。よ。地。と。な
る。氏康。の。と。大き。わ。る。幕。下。ふ。大。名。多。一。
矣。ね。と。それ。と。の。柄。と。と。と。多。國。を。守。護
もう。院。後。せ。よ。ゆ。く。う。矢。の。感。え。と。く。や。く。と。ふ
ね。され。と。武。も。と。れ。口。と。れ。た。小。國。の。主。くる
ゆ。き。の。し。く。き。と。あ。つ。とも。それ。小。隊。家
の。根。源。と。あ。る。よ。早。か。る。京。都。の。云。方。と。は。
五。他。累。以。後。が。一。人。後。河。へ。下。り。今。川。氏。親
を。き。の。と。之。後。武。勝。と。り。て。伊。豆。と。切。て。る。
ね。又。相。摸。と。て。國。と。よ。へ。長。先。氏。繩。相。摸。と
始。り。ま。益。と。総。の。敵。と。だ。ほ。く。せ。め。爲。と。よ。息

民康時代。八ヶ國と治る。民政民直も。又代。嫡
嫡家督と。延。百年。國八州と。辭。盜。治
り。民運のまよ。とく。太歲。よき。て。天下と引
継。百余ヶ日。摺。勢。里。喊。モ。ト。強。い。ね。弓。を。と
多く。始。終。と。治。ゆ。る。庶。家。お。代。未。や。後
代。の。龜。境。小。も。局。り。佛。神。へ。到。て。よ。経。づ。う。と
小。隣。家。の。弓。矢。矢。ア。ゴ。ト。廣。き。と
○。聲。男。と。女。も。り。女。う。り。く。へ。の。事。
中。一。を。し。し。小。隣。氏。直。時代。小。國。原。よ。と。の。と。あ
月。二。度。ば。す。ち。京。國。八。州。の。授。と。が。活。せ。る。

お。考。倉。人。と。伊。舟。ぬ。中。守。大。船。共。釣。か。浦。小。笠。家
情。摩。守。松。田。尾。張。守。同。肥。後。ち。山。角。上。階。る。
月。紀。仲。ち。候。莫。佑。齋。守。安。若。也。前。ち。松。戸。恩
に。脇。へ。道。か。也。そ。れ。が。或。日。暮。行。症。勞。食。あり。
か。血。の。ゆ。は。と。が。や。う。と。事。な。り。と。よ。き
を。湯。く。り。が。う。ふ。ま。く。や。く。ふ。極。く。の
少。活。た。も。く。後。上。列。吉。村。と。り。の。里。の。百姓
一。人。か。う。と。被。か。く。打。ま。れ。血。多。く。れ。る
ふ。ひ。それ。が。一。も。底。も。り。び。女。も。聲。お。う。り

を西より馬をひきびは家の家へ駆りて車ひ
ひあす。女又別の男とを射されと、婦ひ。
盗々とあくわづひゆ。あくの者よえら
うひひ雨す。村の者も出合どけかうめどく
とすとちひ。とれまくく盗人よあひどは。言
ひありきもくわざと。尼糸よがせ付く下
り下りとす。女いもく男と出あひひ事。一女も
うと。家中ふよぐ家の戸とあづりへぬ。盗人よ
こもくまると。毎晩も。いたをばねりきりに
盗人の男もそきやて。わじたてぬり。亂々と

とすと耳目キモくろく。云葉のこごにて
リナ。双方ぬとく。口づれば。なり。底も。理也
と付く。わづめも。御み。志。色也のゆ
はす。弟が。を。雨。老へ。も。く。そ。い。が。んと
も。り。そ。う。ゆ。法。左。の。出。へ。極。く。の。子。細。く。く。残。く。淡
知。よ。わ。ふ。う。ゆ。ふ。な。ハ。ざ。り。し。花。通。よ。と。よ。ば。る
齒。を。引。か。り。食。玄。が。く。三。五。沙。法。左。耳。目。と。が。く
う。ト。ナ。リ。日。が。園。を。と。と。た。は。美。園。と。と
い。し。さ。だ。見。わ。ま。れ。る。沙。法。ナ。リ。た。ば。ま。り。底。の。成
敗。よ。り。と。事。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。

内ゆけ。ハ多子細り。わキ一活。神。アノく。不
徳。ナリ。トづ。アミタ。御。ヨ。モ。リ。ウ。中。ハ。江。雪。ハ

道。氏立の右尾。

宏利口道。

御。シ。少。ナ。チ。リ。モ。レ。貞。永。元。年。ヨ。記。レ。重。レ。テ。御
成。敗。式。目。小。他。人。妻。ヒ。密。接。モ。ル。尼。糸。事。レ。嚴
を。本。ナ。リ。三。れ。出。仕。ヒ。雇。リ。ム。ベ。ト。不。常。イ。ク。ン
ジ。キ。流。ヨ。キ。セ。ル。ヒ。ベ。ト。女。モ。月。飛。ト。キ。ム。次。ヨ
道。海。の。は。ト。ソ。ニ。女。ヒ。捕。事。レ。家。人。ヒ。ソ。ソ
キ。百。ケ。日。出。仕。ヒ。ヤ。ビ。ト。即。候。ヒ。ト。ム。ヒ。テ
矣。右。大。内。家。の。山。内。例。ヨ。マ。キ。モ。行。ヒ。この。び。ン

變。ヒ。判。除。ヒ。ト。ト。シ。ム。ね。又。正。應。三。年。ヨ。は。通
金。リ。ナ。ト。ト。ヒ。是。ナ。ト。モ。ア。ト。テ。テ。る。文。ヨ。名。主。百。姓。
他。人。の。妻。ヒ。密。接。モ。ル。事。レ。人。ヒ。雇。リ。ム。バ。ア
方。ヒ。石。波。ト。花。授。ヒ。妙。モ。ウ。キ。ア。ヒ。ベ。ト。名。主
内。ヨ。料。三。十。要。文。百。姓。ナ。ヒ。料。ニ。要。文。ア。内
犯。糸。内。前。ヒ。ト。多。モ。テ。ハ。ミ。バ。高。代。ヨ。ハ。他。人。内
妻。ヨ。密。接。ヒ。者。犯。糸。ヒ。ト。テ。ナ。モ。ア。され。ハ。嬌
男。シ。ナ。リ。女。ヒ。ア。ヒ。リ。糸。法。ハ。右。大。内。家。後。代。ム。方
ナ。ヒ。式。サ。モ。社。ヒ。シ。ド。首。ヒ。海。ヒ。小。展。季。ヒ。云
者。富。モ。リ。リ。ヒ。シ。ガ。名。ナ。リ。ヒ。人。節。モ。勇。ム

て貪たり。隣は尼あり。女も尼も。家とあ凡て
おもて。生と死。命より男より。翁と幼い。
きら時。一也。そなれ。女をじり。からく。も
家と相。やも。焼火か。わざめ。わらの衣。とが
ひよ。と。うよ。称され。懷妊す。心す。
ねえどん。あく。と云。男。宿。もめたり。又。婦。女。宿
と。それ。と。戸。と。戻。て。ま。う。う。が。女。柳。下
恵。が。ま。ふ。宿。城。か。う。う。と。な。ぐ。く。旅
烈。子。う。ふ。と。人。ハ。旅。よ。が。う。う。と。宿
達。と。う。と。事。う。う。れ。ハ。う。ん。み。ゆ。く。と。達

て。ま。井。よ。か。き。と。ば。う。、か。か。篠。巻。者。ぶ。藍。人。と。き
タ。り。との。世。の。男。女。た。よ。喧。乱。う。、して。ほ。道。よ。ぬ
う。り。第。が。と。、數。女。を。ふ。よ。る。事。か。れ。ば。男。の。ア
か。さ。う。や。わ。し。ん。ざ。れ。た。迄。接。か。、そ。れ。活。と。や。着。
も。人。と。か。う。よ。ズ。便。と。云。て。そ。の。品。と。周。禮。ふ。の
せ。れ。そ。う。一。よ。云。洞。軀。二。よ。云。色。軀。三。よ。云。氣。軀。
四。小。云。耳。軀。五。小。云。目。軀。六。小。云。耳。軀。七。小。云。氣。軀。
よ。と。て。ハ。洞。參。氣。耳。自。身。と。も。亦。か。う。、
奴。又。女。尸。か。み。よ。迄。接。か。う。、双方。首。引。き。迄。接。と
歩。と。べ。と。う。り。女。云。然。ニ。年。以。あ。男。ふ。も。れ

まごと年よりまかねたまくらが。腰抱せぬやう。
 ひそちふ醫師。いわゆるそれば是が用草と名づ。
 女の力不足病也。やもやも。是がつりかく因果りや
 こわさき。よひて生れど。今ふ
 年金せよ。是の男の力不足。ども廢社
 よ男の云ひ。女の力不足。生れども。女を
 とふ安て。ヒトシ。女あり。よく力不足。女
 生れ。虚き。すき。と。大き。女。男。
 多と愛。ドキ。云も。が。男。縄。ふくら。女。や
 私。も。み。これ。そ。り。盗。も。く。ら。ん。ど。され。
 か。一。と。ソ。リ。

○百姓まかね。ともぞく事

伊ナキ。元。元。秋。小。陳。氏。政。と。作。竹
 義。重。常。陸。の。園。よ。と。て。射。陣。の。物。岩。井。と

味方力を失ひ。家臣卒もしく外タリ。總
を失ひ。山里作行の陣西へ。敵は至西に
討はれて。味方の是役。三三百人。每役多
て。敵とうか。案のやう。作行をうち。多
難として。山里へ殺討。引みと叫ふ者。味
方の手もあらう。江とちきひのが下り。ととう
る。敵とて。や一キくすとつへた。殺討のをす
ひ。引内へとくねくあり。をさか。とひく。殺
者。ばうん。とすと。安一。も上敵へ。以爲方角
と。とまく。とく。を退散。味方。徳りく。

の良れと。意く。かど。かひのにて。と。討も。
敵。敵友。や。わざ。や。すく。か。味方。か。負。元
人。多。され。逃亡。と。並。と。ふ。ざ。と。ゆ。首。ハ
一。と。れ。え。も。敵。と。百。余。人。討。捕。と。首。ご。も。と
。改。の。旗。か。へ。れ。身。く。実。檢。と。も。中。ふ。岩。井。の
百姓。二人。と。捕。の。首。と。る。と。内。一。人。の。首。と。わ。討。り。
民。改。ば。ト。と。か。う。り。の。首。事。の。事。也。百姓
軍。中。少。へ。捕。と。わ。並。で。首。と。れ。事。事。也。二。人。累
百。姓。と。氣。前。ア。石。斗。競。祿。と。あ。と。と。から。く。
と。と。後。よ。も。二。人。の。百姓。い。ま。ア。氣。後。も。今。

多々笑れ。岩井の百姓にて假り。味方を參
至る。又之と並く。おどろか。もひびき。多く行達
一揆文書とす。今秋の東洋。味方の中へくる。
さんとみづ。まよふ明よ。敵とそれ。学びひよ
たぐ。それ。なのふと。一揆。まよひ。な。敵と
え外。首をみてはと。改政。石。百姓。てよ。ま
ながり。もと。紀。岩井の角直。よか。ひよ。ま
後れ。感狀。よいもと。ばか。む。竹。義重。帝。陸。の
庫。岩井の。敵。永。討。の。別。岩井の百姓。味方の
は。せく。ら。ま。お。登。す。ま。敵と。まよひ。一揆

組を効。子。負。と。と。終。よ。ハ。敵。と。流。外。首。討。れ
事。園。八。分。家。努。剛。民。一人。當。千。の。効。本。代。本。文
あ。百。余。討。捕。首。内。よ。と。いて。一。轟。乃。名。名。と。義
利。よ。あ。と。ち。也。ば。な。の。勤。亥。よ。百姓。と。無。備。ヒ
互。名。と。角。ひ。岩。井。と。の。や。り。左。ハ。大。庫。助。よ。ナ。ト
さ。る。今。日。よ。岩。井。大。庫。助。と。名。は。一。ミ。上。岩
井。の。穴。と。破。か。水。代。子。と。確。く。純。乃。勝。こ。け。
ま。く。く。と。よ。み。そ。て。以。來。忠。功。と
と。行。キ。レ。よ。と。そ。ハ。が。そ。の。て。賣。と。わ。て。と。
さ。う。く。じ。さ。せ。と。と。ね。又。家。一。人。の。貢。と。ね。討。の

小栗棟之助とおへん前す。也。也。也。也。
 まろ小栗棟之助の助は小隊家勝代の武士。も
 もの。勝ち。若林と云う。、と。達の
 ゆきに血としけど。前よりも是初より百姓
 お討しろよと。も前百姓よと。を
 らん。誠よの面見まくべき。と上うる前と
 百姓とお討し。ひ前事。け冥加よそしき
 法事のやきうちを。ももいとくと。も前
 かうん。武勇と。まさん。が。小栗棟之助
 お内産とも。すすべ。り。わやうと。と
 月引。鼻ひき脣とう。うと。と。と。と。と。と。
 まう。それ。も。岩井力百姓。敵力。お討と。と
 て。心。行。達一挺。圓さ。は。味方の刃へ。と
 あが。仕。取。先。から。と。敵。と。を。刀。あ。ら
 づ。それ。ま。達。よ。敵。と。敵。と。を。敵。
 ふ。是。あ。う。ま。ひ。前。と。お。て。ひ。それ。と。お。討。と。た
 し。ふ。こと。う。ひ。前。と。お。て。ひ。それ。と。お。討。と。た
 百姓。く。の。じ。の。よ。き。ひ。達。行。の。而。と。お。き。達。よ
 きて。神。ゆ。す。り。ば。の。忠。良。よ。ば。者。每。年。紀

とまくら乃田畠を永代作れよ。と上宗井
内の肝煎はさ者也。經よ百姓とお付仕事。小
栗棟に助ばる敵の軍討ふ。本陣よりえんで。強
敵よ出わひ雄雄と津ひ。猛威とての敵よ敵
ケあり。と負せ。主とも負。勝負と没。一死
不よ百姓一人免れ。助達一敵と討ね。靡利
支天の東現。棟に助が武勇のことを而よれど。され
神明佛曉の冥土。時すゞし。ば百姓けり。と
者。と柄と感せ。うすよにて。むすく討捕首
乃内はとよて。三萬のち名。と。忌門。と付。と。事
わまとて。か

○小栗氏康和奇ノ事

小栗棟に助。軍中九面月と。なんど。る者也。と。さる
ね。故。の。往。た。乃。討。れ。取。の。首。残。場。乃。厚。為。の。勤。功。
小。道。ト。一。口。一。村。全。浪。と。諸。ゆ。よ。勤。業。セ。レ。事。
わまとて。か

○小栗氏康和奇ノ事

守一を。青。小。栗。氏。康。と。通。明。よ。守。一。と。山。伊。与
守。と。少。老。士。か。て。う。そ。る。氏。康。ハ。文。武。乃。ま。人。今。矢
と。れて。國。八。州。よ。感。と。う。ひ。東。西。あ。す。よ。敵。也。
き。く。ひ。晝。夜。い。く。さ。洋。宣。也。ん。と。か。く。す。勝。と
先。活。を。ど。され。た。と。れ。の。た。る。や。と。内。外。も。わ。す。

のまうしゅけひまうり。或内ハ和漢の文人と集め
或内ハ奇の会あり。民康万首乃自詠と。京郊へ
上をすれ道院殿合点と。なまくれ詠ひぬ成多
きもの徳よむ。すゞも詠ひたる句よ。もととある。
孤木て鳴ると。山あい。絶とく人をがや。これ
ども。茲角は人か。梅窓軒と云者。アタマ。ひ
ク。新胡云。信州後昌みくに。豊の山野よ。孤鳴で
小さうて。死たりぬ。人を毛とぞうんとく。矣ん
やとゆく。とく。とも。身をも。新胡云。山邊
ト。秋の霜の孤と。そとつ。夜。豊よ。孤鳴と。不

畜ナリ。准うるを序。まじへと。信下されし。至方
祐經所りて。城よ。眼の山野よ。とて。桃源源
太氣季う。哥。母は。嶋神。もめて。と。寂それひ
れ。是やも。安わづ。ばく。か。ま。准く。も。せ
門。なれ。たゞ。し。人。す。り。ふ。武。益。の。圓。れ。使。
も。用。三。郎。季。隆。や。げ。ま。う。ふ。か。り。う。う
え。り。ト。う。が。底。く

お。安うすくは。出。く。や。と。鳴。き。わ。わ。
う。小。ち。あ。ひ。新。孤。承。こ。や。く。れ。は。居。支
名。く。神。ゆ。よ。ア。ま。り。城。よ。孤。よ。お。か。せ。る

者。西宮。山口。もと。上道の國。井伊田。三
百町。と。猪。も。と。あ。島。毛。和。舟。の。ろ。と。ま。
び。と。く。と。よ。び。も。と。お。素。ト。て。見。ひ。べ。き。と。
ト。民。康。さ。あ。り。う。玄。翁。鳴。き。み。事。か。も。
み。か。く。争。と。案。ト。出。算。次。中。ふ。一。首。は。下。
と。経。き。く。れ。が。な。の。く。案。も。う。神。カ。と。く。れ。な。
志。傳。人。ア。御。て。民。康。云。

文。へ。三。の。神。ア。な。く。御。カ。う。衣。を。の。き。
く。ダ。ガ。力。の。上。よ。さ。ト。よ。ど。も。活。ヒ。ト。ふ。義。め。て
凡。毛。も。と。机。カ。鳴。う。所。ア。死。く。毛。タ。リ。皆。

人。事。妙。不。と。寂。也。也。國。ド。あ。り。民。康。ハ。希。代。の。大
鷦。鷯。ト。天。ア。ぬ。セ。仁。ト。人。よ。良。ト。ア。德。人。ト。親
先。の。よ。く。れ。ひ。慈。心。深。き。み。て。よ。寛。仁。大。智
な。り。き。よ。福。作。の。諸。め。ト。或。ヘ。礼。教。ト。厚。ト。て
射。酒。ト。或。ヘ。あ。さ。け。る。も。と。義。と。く。け。食。も。う。い。ま
毛。仁。よ。く。ま。ぐ。は。ど。累。年。と。來。る。民。康。い。る。正
生。教。方。の。合。誠。よ。傷。利。と。う。る。事。民。カ。の。と
も。而。ア。わ。る。も。と。辛。ぶ。あ。ア。か。が。天。室。今。下。て。
神。明。佛。曉。の。權。獲。よ。覺。う。か。覺。と。佛。神。と。信。教
リ。諸。寺。諸。社。と。建。立。せ。り。モ。父。亥。總。ハ。天文。九。年

鶴愚山八幡宮造立。民康。同十一壬寅年仲月半
二日。由井の演。大島井と立。酒款。手すりを半遍
絶羅尾と。七日。と。半。手すり。後表。よ。半。切。達
物。續。也。例。よ。ね。う。と。も。布。綾。あ。く。の。目。緑。わ
タ。と。ま。う。と。が。と。と。大。き。井。天。正。年。中。ま。で
き。今。ハ。手。と。て。な。し。民。康。く。も。か。く。家。軍。と。も
里。活。ひ。ね。上。よ。義。わ。き。ば。下。わ。て。り。よ。服。せ。ど。ど
事。か。下。諸。公。力。命。と。君。う。と。か。げ。く。ち。忠。と
り。ま。ん。と。と。ざ。れ。ハ。仁。義。礼。智。信。乃。え。つ。の。名。お
リ。と。へ。た。そ。と。一。ふ。よ。物。ま。り。春。う。と。ひ。方。民
と。あ。ひ。と。迄。の。君。よ。と。く。は。今。父。う。と。い。子。と。膝。え。
子。と。親。と。教。と。通。と。か。ハ。礼。義。と。り。よ。半。ウ。リ。と
じ。よ。く。と。毛。み。ぶ。智。仁。勇。の。用。と。わ。り。毛。公。
合。許。と。れ。國。家。安。泰。ナ。リ。モ。上。民。康。ハ。社。國。よ
里。財。う。ゆ。と。あ。ま。ひ。く。牧。わ。り。社。と。う。ミ。職。の。者
と。ば。懲。勤。よ。せ。れ。ま。り。整。國。よ。取。と。う。と。と
せ。も。若。と。堂。う。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と
者。の。れ。う。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と
か。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と

わふ。徳國カモトと小隊家サムライよんとせ。徳國よ
里カミ小國カミクニへ來カムとて。人ヒト死マリ。はよりて。を初ハタチ
石イシいづれ。と圓カクくの弓ヨウ矢ヤのて。をと。と。射アサる。
や。イ。め。弓ヨウひ。キ。リ。か。よ。諸國スガツクニの大オね。弓ヨウ矢ヤを。か。る
て。キ。そ。く。軍コウ法ハラフを。す。く。知ル。殲ゼン傷ヤウ。よ。か。く。か。る
勝利トドケ。わ。國クニと。全ゼンく。守護ムカヒ。行ハシメテ。之ナに。と
之ナ。裏ウラの。築ツク。行ハシメテ。君クニヒの。祀マツル。と。う。な
よ。森モリ又。殷エニの。湯ヨウ。と。賢セイ人ジン。と。す。と。ゆ。そ。う。と。を
す。不。あ。つ。ま。と。ど。か。く。氣エと。か。く。り。か。よ。と。え。

備ハサウエ。行ハシメ。と。夏ハと。背モロコシ。百姓ヒトを得ハシメ。と。湯ヨウ。治ハシメ。徳タクよ
陽ヨウ。と。裏ウラの。築ツク。と。改ハシメ。天下カミハタと。治ハシメ。爲ハシメ。小國カミクニ
不ハシメ。小。益カミナミ。不ハシメ。爲ハシメ。广カミナミ。守ハシメ。伊勢イセ。中ハシメ。守ハシメ。大和ヤマト。東ハシメ。三ミ郎ロウ。是ハシメ
き。後ハシメ。兵ハサウエ。か。捕ハシメ。と。改ハシメ。名ハシメ。し。ビ。三ミ人ロウ。京カミ。教ハシメ。云ハシメ。方ハシメ。根ハシメ
波ハシメ。余ハシメ。徳タク。東ハシメ。下ハシメ。向ハシメ。寧ハシメ。か。う。て。小國カミクニよ
堪ハシメ。不ハシメ。仁義ハシメ。道ハシメ。不ハシメ。う。は。と。ま。ら。く。も。也。民ハシメ。康ハシメ
由ハシメ。自ハシメ。不ハシメ。う。く。も。ど。宮ハシメ。よ。み。それ。の。爲ハシメ。民ハシメ。康ハシメ
控ハシメ。軍ハサウエ。よ。と。て。諸ハシメ。ゆ。い。く。さ。の。行ハシメ。と。見。付ハシメ。い
雅ハシメ。系ハシメ。と。も。か。も。ど。意ハシメ。だ。を。第ハシメ。重ハシメ。上ハシメ。下ハシメ。と。う。く。も。ど。

どもが諸侯を敗敗とすれど。軍中少くも
あらうて、多くわきも。されちと云上と。もと少く
多く制し。とどづかや。成へる勝利。小石
はうひ。成へるとあく活ひな是よとて又も云あら
あもんと。とふままで。おほとすうと。もと少く
力々を材軍はとめゆて。うち馬の力を日和はぬ
をび。とさかくの勝利。勝利えん事と。うらもくと
と。威儀、とく。威いと。與どありよ。とく。おもくの
者よね候。三人少くかくと。二人よくは
えりへ。君の合戦よりと。うげく別を
きうと。節度と。れ立候ひねぐをよし。他國若
ぬまを。小除家よると。せととく事か。ば時
代よき。園ノ内辨謐よ治りきらと。相續せり。
○人きて篤のう。も曲と。ぬじ事
安すを今。あるとも。駆きを。篤と。ひぐくな。
御子上ぐ。とく。ふ人も。下がつと。このじ
人もあり。とく。ふも。ひづり。ばは。証世左を。委か。さ
前代未安。徳の名人と。天下よどて。ゆ活せり。
か。諸人証世。すまひと。や。やと。神。お経よ

學傳たる事と云者。それにて扇面へ來りよ
庵。我か人云々。昨日を方西へ歎せたを失
支あり。遂もと。とさうれ。一や。や。し
とれりひ。是へ來りす。これば誰とまちがふ
水。もの歎せづと。うひ。へよがめられ。行
口といさんとあひ。や。や。後玉腸。そゆ
庵と一毒。うひ。それごもじうち跡。さ
う。一。や。も。な。是。は。い。ふ。と。う。ん。よ。が。ひ。り
お。二。毒。用。よ。店。を。子。息。三。十。郎。患。疫。と。う。る
ひ。ま。り。し。が。教。も。く。や。と。そ。と。う。り。て

ね。あ。く。ひ。い。と。が。き。ぐ。り。あ。く。ハ。病。が。や。さ。り
が。今。一。番。や。ま。だ。や。と。神。が。い。し。ふ。な。を。ま。え。松。
風。と。う。き。の。せ。く。り。よ。ど。の。お。や。や。我。も。と
や。え。じ。え。益。わ。じ。き。き。道。と。う。と。ご。息。と。も。う
き。え。じ。あ。り。の。ゆ。び。の。う。ぬ。ゆ。く。う。き
称。が。済。あ。と。や。ま。け。り。ば。ね。風。あ。く。が。り。
う。と。や。見。見。ん。と。耳。と。そ。じ。と。て。む。な。う。づ。る
曲。う。く。や。一。お。見。み。う。ぎ。う。ぎ。う。き。う
ト。う。沙。流。も。く。の。う。ん。る。万。と。り。お。風。を。ま。え。

是を執りと。成政云に嘗ての御師の事より御
子孫の付くものゝ義わしが。市被被はるを
多く應観せ。源氏後醍醐葉障の萬言、
もとより事あつて。やまと見ゆる御師。
師。やまとうちやへ、も見えね。そいかれと
やまと。被といひておとくと笑ひ落ひね。
に雪よていふ。もくとそれればくはな
能よハ扇とす。と身いは。前あやうの
扇やまと。扇と先胸へ。後をとよてひと
口されば。御師さもとそわらめとのこまよ。そ

乃後觀世と云ふ。ば義と少助の御師は社也
子細ともとをほひされ観世とす。いふ。
我あり家。様承よれひくの院の空よハ神代
もうちとてこまわり。中古まで。神承と書
をとくしろそりお示參と退て。神と云字
のゆり計りて。申あと書と云ふ院を。乞を
神焉也。又源草天皇の御宇ふ仙洞院の
女房あり。不意よ懷妊と。御すやく月を
て子を産す。帝かくもひ女。すとすもす
宮す。とくとく多婆人をゆく。様ふ御

里門もうざなれ事よればり。禁罰と
色加てきよらの子とぞよてすゆらち
ふかして空の子成人トタマカの曲としる
事。神寔ナリ。云御殿上人をねり、
て。則れが曲正ふ似合と。寔法と表せ
ら。それと様承と名付。主はほ定人。内裏と
出でね宣ト。あく曲とナ。人とがさめ
多。びほ人の子豫観世。保生。今ま。金罰。毛丸
今ま。毛丸と号し。び家と。毛丸と。名
人わきと。紫京。毛丸句面と。此味ト。どうさ

西を。ひとに。うる味と。かぬ。毛大山
の佐わり。ちてと。教家の絶術。教外別傳
他力と。ふ。不。ア。行。と。すべ。し。日。源氏傳
書。よ。け。く。ふ。る。御。仰。の。毛。大。山。と。に。雪。冰。見
て。わ。達。は。ひ。それ。う。仕。跡。ハ。崩。と。左。う。
う。ば。を。と。か。と。か。と。ゆ。く。もの。子。相。も。な
く。い。こ。下。民。政。は。義。を。や。る。萬。觀。世。家。の
奥。底。と。く。か。名。人の。ゆ。く。わ。り。よ。く。そ
と。自。の。見。不。甘。勝。と。感。下。氣。ね。レ。安。み

ひや。親世多々をまへ若年乃はくべに
もひるへ我家へあつて。あ事あれありて事ひ
ぬされど。まに善惡乃る。よとさすへ下
古人もまればどんは道とあらず。とどり。湯
宿よ切とるがゆく。湯もろぐやく。靡すら
かくとましれ。強は神代よりも。まれ
ふとつが。ととほとめどんはるぐ。じとぞ
神乃乃子細ととづ。と後儒。奇。古。よも
せ。ま。佛道よととく。悟らとうやく
て後我家のみち不れ付。先とくりくせ
むくとまよ。徳一壽の次弟。うとをとせと
よ。天地陰陽教。ね。慈せととく。事す。
徳と前もあ歎延年の。世えまひ。ゆき
我家の。ち。し。ま。めせどんはまぐ。じと。ぐを
く。め。骨とく。自和鈴。す。は。とわ。ぐ。
え。院も物忘がく。年々。そ。是とせんきよ
言句。内とも恩さと除。と。と。か。
あ。か。ち。う。え。も。う。く。の。ふ。重。た。う。そ
ゆ。ま。お。ぐ。か。ま。代。魚。人の。ま。ゆ。く。わ。た。く。真。よ

章とさへなれど。希代の名久也極又口あひる。
てよその次やつよ。空十又字乃思あり。すく又謂
ふと知事所要をかんがへ。呂律とすらり。
とし。呂は。終こびへ。終々律が。ひの聲也。
双薰越乃三酒すハ。呂乃も。もと。是とハ天ア
けりさと。平盤乃二酒子。律の。あとし。是と
モ。地。又。同。也。も。上。一酒。二機。三教。と。云。ひ。い
わ。里。社席。と。う。び。附の。酒子。と。う。す。ひ。い。
文句。よ。と付。お。丈。と。死。乃。ちん。と。侵。者。と。ト
革。と。く。の。席。被。急。乃。く。升。と。そ。し。り。も。大

竹乃。が。と。興。小。良。と。く。か。れ。と。が。え。と。う。ま。ひ
後。ア。先。よ。う。じ。て。左。と。変。と。美。下。の。名。久。也。と。♪
は。く。ま。り。僧。祖。可。が。あ。よ

琴。じ。そ。ん。よ。う。内。て。右。者。ま。れ。す。り。莫。今。そ。と
一。疊。朝。う。り。と。キ。ま。ひ。う。陽。ま。る。画。と。く。も。る。と。と
き。と。月。ざ。よ。キ。ま。う。み。ち。て。精。と。く。と。と。と
そ。と。此。ま。り。琴。と。ひ。え。琴。と。右。者。た。か。れ。な
しげ。極。の。所。不。可。り。て。か。か。し。と。ま。れ。す。り。佑。牙。が
琴。の。高。拔。也。又。剣。ハ。空。と。疊。朝。一。人。の。と。陽。ま。る
曲。弓。の。物。往。と。と。か。ぐ。と。演。色。左。と。変。が。ふ

え。うつへるべくも。先と又やれんされど
が。がよ子朝。去て。伯牙絃と。そのと。伶
倫と云ふ。耳こそ。一里の外より。鼓の躍り
ととと。黄帝の五と。のりして。高津と。紀
らし。じらんうんざんの。わ。行く。どうくよ。生る。行
と。そり。脣鬚葉と。なり。鳳凰の。鼓と。生て。六律と。
し。六呂と。ナヒ。十二律として。十二方かくと。祀里
まり。ば呂律。よく。おどれ。島歎の。鼓を。す
ち。云。洛長ハ鳥雀乃。鼓。と。わ。わ。うんざん。ざき。
馬活。よ。海。どろ。秋胡の。仲國。猿。誠の。は。物。不。寧
。ひ。が。を。弱。り。ま。と。が。ひ。で。う。る。と。し。想。文
意と。ふ。寒。と。ゆ。り。よ。き。今。の。時。代。呂。律。と。か
人。も。や。人。も。ま。れ。か。タ。ベ。ノ。我。力。せ。能。ゆ。て。人
の。智。惠。も。う。う。と。う。と。と。古。人。も。ソ。ア。詫。世。古
を。ま。謗。と。愚。湯。左。共。衆。い。そ。や。妙。ん。や。と。云
○。欲。心。力。と。が。渦。れ。と。事。

凡。ト。モ。じ。園。東。諸。國。み。ぞ。れ。弓。矢。を。そ。て。命
ひ。す。か。一。中。よ。も。小。隙。平。氏。改。文。武。の。大。將。
國。八。州。よ。感。と。う。ひ。並。人。す。り。さ。縛。よ。冰。龍。の
ぬ。か。ひ。感。田。上。総。ち。信。長。東。都。へ。せ。め。上。り。三

好と七罪。云方義服云と都へ歎リ。天下
小義兵と上國西を靡うととて之た。欲まくを
彼等。それとわづつ。云方と釋め。アラクニ
ト内て。園東小隊民政軍長と率し。上あはせり。
信玄を追詰つさざるの旨。義服云より使者と
下向く。民政取て。ば令と仰下さく事。か
ふとそ。面同キリ。辟し。ヤハ。小都ととをき
り。種上り。絵もと。七罪仕べき旨言上せり
し。民政云。それ絵もい。ち。暨。威と。かく。を
首と切一事。云若。ヨネ。ト。ト。アリ。者。佛歎と

ナム人とあらゆ。天竺めぐ。ハ。提婆婆。ナ。ア。ム
精と血と身と。我約。ナ。守。尼。太。臣。一。摩。迦。太子。佛
モ。ト。ム。ウ。カ。ト。ミ。ム。シ。ア。ハ。盛。ハ。南。象。七。寺。物
ア。園。城。寺。と。教。ナ。一。松。長。彈。云。ヒ。素。ム。ル。カ。大。佛
勧と灰。極。と。と。恩。達。モ。ナ。ヨ。リ。天。界。の。
き。ダ。ア。ハ。ホ。ア。人。こ。在。セ。ク。ト。カ。モ。皆。ハ。佛
ヒ。果。ス。ア。リ。佛。ヨ。ハ。徽。山。ハ。人。皇。又。十。代。桓。武。天
皇。延。曆。年。中。傳。教。大。師。ト。ガ。ム。ト。ア。ム。セ。濟
建。立。ス。ア。リ。紫。王。城。カ。法。寺。ア。ア。ヘ。院。ヨ
八。百。余。年。ヨ。ド。ア。ハ。色。ジ。山。ア。リ。ア。ド。ト。云

筆記。達宣。二千の旅先とあるて我が子
う一家の教化と守り我命とともに
ゆふやう。法も元龜二年。辛未。九月十二日。
比叡山。室社。佛圖。とく。とく。機。七。二年
乃、床院。一人も狹さと、首と列。遂の惡人。よ
小字もくら。神ぬ弘隆の冥國。よ宵。さ。天乃
あらの。と専。う。父と角ひ活ひ。とがよ。仁乃。わ
とあくと。仁者。かず。も。勇。わ。勇者。へ。必
仁。う。と。文宣王。乃。歎。か。ひ志。れ。そ。歎

道。む。あ。財。は。風。雨。晴。よ。あ。が。ひ。國家。も。ま
ふ。善。惡。の。草。の。風。よ。あ。が。ひ。善。惡。の。風。よ。あ。が。ひ。傳。也。仁。義
の。あ。が。ひ。く。る。土。木。瓦。石。と。が。ん。そ。と。う。し。
人。礼。も。と。う。ん。ぞ。則。私。も。く。不。礼。が。る。こ。う。ん。ぶ
則。う。や。う。と。礼。記。よ。り。と。う。り。廢。も。く。通
か。死。者。が。か。く。と。そ。ふ。と。ひ。墨。一。ち。賢。の
玄。葉。と。う。と。ビ。氏。政。、御。く。も。う。馬。の。家
ふ。携。つ。も。ひ。い。ぐ。と。う。河。よ。今。生。れ。わ。ひ。義
の。威。え。ふ。経。運。ふ。う。と。う。が。恩。達。と。せ。免
モ。う。ん。事。神。ぬ。の。す。り。天。乃。も。争。り。す。ひ。猪

も。やくしん。玄。の隣。國の敵。玄。遁。公。天正元年。より。卒。去。一。常陸の義重。安房の義政。和後。月。又。年の夏。小田原へ從人。と。改。甲。勝。也。同。又。年。旗。下。不。なり。と。上。民。政。の。跡。舞。と。ナ。越。後。ハ。民。改。金。守。二。郎。輝。虎。の。妻。子。と。成。て。上。松。三。郎。安。原。景。虎。と。改。名。一。家。督。と。次。因。安。小。村。ひ。改。事。ナ。キ。よ。そ。越。後。と。相。換。一味。通。物。を。も。く。同。本。六。年。よ。ハ。信。玄。退。治。テ。輝。虎。を。東。山。通。民。改。ハ。東。海。の。あ。旗。と。り。る。

京。教。へ。攻。上。り。信。玄。と。ト。赤。義。光。と。ち。き。佛。法。王。法。乃。裏。と。お。う。天。下。乃。改。と。キ。と。く。桃。山。り。ん。こ。掌。小。じ。だ。ら。と。ち。度。も。不。小。同。六。年。の。ま。輝。虎。死。と。じ。良。り。よ。も。く。七。尾。京。勝。源。勝。れ。と。一。味。一。二。郎。京。虎。と。モ。と。改。後。甲。州。歎。キ。ま。ゆ。民。改。上。海。延。ア。リ。勝。れ。民。改。と。父。子。の。榮。徳。ア。リ。と。大。歎。人。内。よ。も。き。ば。骨。肉。も。歎。と。か。く。せ。の。ア。ト。ウ。リ。立。ギ。モ。ナ。れ。伝。也。ハ。家。人。の。ゆ。智。目。向。ち。よ。材。キ。

日向守ハ徳宗ノ羽林軍也。小説せられ
絵もと退治せんと。もととす。小隠家へ
ああみのきらよ。うろび。毛髪。ひのくよ。が
たそよ。滅モ。猿ひわく。とれ。絆り。され
む人や。それま。榮の。ゆよ。とれ。人と
す。ふ。きえ。と。害と。世と。生涯。苦す。又
力海よ。うなづきて。おほの。身持と。うちよ
せ。うぞ。かう。こと。も。人の。口と。あも。う
かれ。うつまへ。人ら。ひき。うがても。う
まく。うねよ。けくも。愁。一生。は。あ。生。た。望。と。ハ。
金

も。乞貪嗔癡の。ニ。毒れ病。うり。さがゆへ。ト
出難生死と。と。あれ。う。ば。病ハ。齋妓扇
鶴。療治。み。も。う。も。經。よ。諸苦。も。よ。貧。貪
欲。あ。が。と。流。生。ア。リ。一。切。の。惡。業。の。源。ハ。貪。欲
も。よ。が。う。り。都。て。方。と。害。も。摩。阿。止。經。ア。
あ。う。く。う。て。独。り。誰。が。是。地。と。よ。う。ん。
わ。ゆ。ふ。の。賊。家。う。ふ。他。の。た。ち。ふ。を。と。き。
歎。か。半。多。の。佐。よ。そ。れ。り。景。紀。よ。が。う。り。詔
文。を。力。さ。れ。な。生。死。を。あ。う。る。う。れ。き。事。を
歌。え。王。位。と。捨。十。九。め。く。か。家。し。雅。独。だ。ん。ざ

せんよ十二年の内。難行苦行の功徳より正月八日
乃暁明星現じ。内諸法事相の心と悟り。夜半の
苦と能ま三世まで。小らの仏と敵て。ニ東庵生を
導す師と敵ひ。手と敵て。生死と抱め。天下の民を
己敵て。繋ひよあるも。推羨幻のうゑ。方法ふれ
かとふつよ別よはり。今人來りよ。まことに。翁が
乃山の下にさがり。とをして三途の左へゆく。
事あれば。貧乏の波多。まよ。生の大海と脅。
涅槃の家よ。かんむる。窮。さすが。事なりと覺り

小除五代記卷之六終

110X
231
10